令和７年度　郡上市立明宝小学校　学校経営構想

学校課題
・自ら考え、行動する主体性
・思いを言葉で表現する力
・目標をもち、粘り強く続ける調整力
・思いやりの心

学校の教育目標
進んでやりぬく明宝の子
よく考える子　思いやりのある子　じょうぶな子

郡上市の方針と重点
凌霜の心で拓く明日の郡上市
自立・共生・創拓の教育
自ら行動・共に生きる・未来を切り拓く

明るく楽しい学校
〈明るい宝〉あいさつ そうじ べんきょう

学校運営協議会の願い
・「ONE　MEIHO」
・「学びがふるさとを育て、ふるさとが学びを育てる」

よく考える子 未来を創る確かな学力	思いやりのある子 明るく望ましい人間関係	じょうぶな子 粘り強く取り組む体力と気力
「学びたい」「できた」「わかった」実感をもてる授業づくり ・学ぶ意義を感じる学習習慣 ・学びたくなる課題を見いだし解決過程を大切にする学び ・見方考え方を働かせる発問 ・自己選択、自己決定の場づくり ・成長を実感できる振り返り ・AI ドリルの効果的な活用 **考えをもち表現する力の育成** ・話す、聞く方法の習得 ・子どもの言葉で語る場の設定 ・考えの深まりや広がりを実感する場づくり **ふるさと明宝への愛着を育て、地域貢献へとつなげる学習作り** ・地域素材・地域人材を生かした生活科及び総合的な学習の時間 **読書習慣の定着** ・学校図書館を活用した調べ学習 ・読み聞かせ	**自己を見つめ、自他を大切にする人権教育の推進** ・あったかハート、ひびきあい集会の充実 ・自己を見つめ、自他のよさを知り、伝え合う場の充実 ・相手の立場や自分との違いを尊重する態度の育成 ・いじめを許さない心情の育成 ・学年を越えた交流の充実 **多様なあいさつと正しい言葉遣い** ・心を開き、人とつながる意義を知る ・時と場に応じたあいさつの推進 ・幅広いあいさつの励行 「こんにちは」「ありがとう」「ごめんなさい」 **「するすみ宣言」を踏まえた主体的な活動の充実** ・自分たちで作る「するすみ宣言」の継続 ・するすみ宣言を意識した行事への取組と評価	**自ら高める体と健康** ・規則正しい生活習慣の徹底 ・メディア利用等による睡眠の質・視力低下への取組 ・体育の時間の運動量の確保 ・気持ちよく体づくりを続ける運動の導入（チャレンジラン、チャレンジスポーツ in ぎふ、スキー教室） **主体的に取り組むそうじ・ボランティア** ・こだま班（異学年）による「師弟（高低学年）同行」清掃「やってみせ清掃」とよさの認め合い ・さしすせ掃除の充実 ・自分で気づく草取り、雪かき、ごみ拾いボランティア活動 **学校を楽しくする歌声活動の充実** ・美しい歌声を求め、心を合わせる全校合唱
◇学習発表会	◇ひびきあい集会◇こだま班、ペア学年活動	◇運動会　◇スキー教室
教育活動との関連を意図した道徳科授業の展開と自己をみつめよりよい生き方を求める道徳教育		
◆目標指標（「はい」の回答） 分からないことがあれば尋ねたり調べたりしている（80%） 自分の考えを言葉にできる（80%） 明宝地域の行事に積極的に参加している。（60%）	◆目標指標（「はい」の回答） 自分にはよいところがある（90%） あいさつをしている（90%）	◆目標指標（「はい」の回答） 健康づくりを進んで行っている。（70%） 毎日の掃除を一生懸命行っている（90%） やりとげてうれしかったことがある（80%）

〈特別支援教育の視点〉
・一人一人のニーズや困り感に寄り添いながら、子どもが学ぶ場所づくりをする。
・教師間で多様な学びに対応する指導方針を共有し、保護者との合意形成を図る。

教師の働き甲斐を高める働き方改革
・子どもと一緒にできる喜びを味わう授業や活動づくりと精選
・進んで手伝う職員集団
・子どもの理解と情報共有
・お互いの授業から学び合う職員集団
・確実な「報連相」と「振り返り」の共有
　「ネガティブ情報ほど早く」「一人で抱え込まない」
・ICT の有効活用
・職員と保護者・地域との適正な関係づくり

・出退勤管理　毎日 19 時まで。以降は事前申請
・職員会資料のデータ化、「すぐーる」による文書発出、情報提供の充実
・成績処理期間、冬季の 15 時下校日の設定

地域に開かれ信頼される学校
・保護者・明宝地区学校運営協議会への情報発信、収集、活用
・明宝小郡上学（総合「ななさと」）の充実
　「ふるさと明宝」のよさ、誇り、人々の生き様や願いに迫るコンテンツの実践と修正
・地域人材を活用した活動や環境整備
・地域行事への参加
・地域保護者の方の学校参観の機会の確保

評価の場　教職員自己評価　児童・保護者アンケート　明宝地区学校運営協議会学校評価
評価の活用　評価結果の公表（たよりや PTA 総会）および学校運営にフィードバック